

# 「せん妄」ご存じですか？

(患者さま・ご家族さまに知ってほしいこと)

患者さまによっては、入院による環境の変化やからだの不調により

「せん妄」という症状を起こすことがあります。

1

## せん妄とは？

「せん妄」とは一見すると認知症と間違われやすいですが、全く異なる病気です。

せん妄は、脱水や感染症、手術や痛み、薬、環境変化など、からだに何らかの負担がかかった時に起こる脳の機能の乱れです。症状は一過性で元に戻るものが特徴です。

**「せん妄」のときは、このような変化や特徴があります。**

時間と場所の  
感覚が鈍くなる

- 今日が何月何日なのか分かりにくくなる
- 病院にいるのか自宅にいるのか分かりにくくなる

話のつじつまが  
合わない

- 過去のことを今のこのように話す
- 現実と違うことを話す

睡眠のリズムが  
乱れる

- 寝る時間と起きる時間が不規則になる
- 昼間に眠って、夜に眠れない

落ち着かない

- 何度もベッドから起き上がる
- 繰り返し、どこかへ行こうとする
- 転んでしまう



荒っぽくなったり  
時には怒りっぽくなる

体についている治療に使う  
ための管を抜いてしまう

見えないものが見えたり、  
天井や壁の様子が動いて見える

2

## せん妄になりやすいひとはどんな人？

- 高齢の方
- せん妄になったことがある方
- 物忘れが目立ってきた方
- 視力低下や難聴のある方
- お酒の量が多い方
- 手術後の方（疼痛のある方）
- 脳梗塞、脳出血になったことのある方
- 睡眠障害・眠剤を飲んでいる方

上記項目に当てはまり、不安がある方は看護師へ気軽にお声がけください。

3

## 予防のため患者さまとご家族ができること

- 朝から日光を取り込んで部屋を明るくしましょう
- 普段使用されている眼鏡、補聴器は正しく着用しましょう
- 時計、カレンダーなどを近くに置いて一緒に日時の確認をしましょう
- 睡眠リズムを整えるために、日中の活動の手助けとなるもの  
(本・新聞・TV・ラジオ・軽い運動など)を活用しましょう
- 痛み、便秘など、本人が気になっている症状は早めに医療者に相談しましょう



4

## 予防のため入院時に持参していただきたいもの

患者さまの病院での生活を日常のものに近づけることでせん妄を予防することができます。

患者さまが自宅で普段使用しているもの(湯飲み、ブランケットなど)・写真  
時計・ラジオ・眼鏡・補聴器・普段使いしている財布やカバン  
ご家族と連絡の取れる携帯電話や公衆電話で使用できる小銭

**その他にも患者さまが手元にあると安心できるものがあればご持参するようお願いします。**

## せん妄が起こったときご家族のみなさまへお願いしたいこと

患者さまの意識が混乱しているときは、

ご家族とお話しするだけでも患者さまは安心されます。

- つじつまの合わないお話があっても、無理にただす必要はありません。
- 患者さまが安心できるような言葉かけをお願いいたします。
- ご家族を近くに感じることで、患者さまが安心を得られ、症状が落ち着くこともあります。お付き添いやテレビ電話を利用した面会などをお願いすることもあります。

**分からないこと、お困りのことがありましたら、**

**遠慮なく病棟看護師や主治医へご相談ください**